

木古内町教育委員会々議事録

開催月日	令和6年10月25日(水)	第9回 教育委員会
時 間	9時30分～11時5分	
出席委員	藤澤義博、工藤嗣美、竹田光伸、仁禮秀嗣、古城美佳	
欠席委員		
事務局	加藤生涯学習課長、森山CIO補佐官、学校教育G敦澤主査、社会教育G太田主査	

会 議 内 容	○ 会議録の承認について 令和6年第8回教育委員会会議録	承認
	○ 報告事項 第1号 教育長諸報告 1. 8月28日開催の第8回委員会以降の会議等出席状況報告 8月28日・9月5日 みらいある学園 まち課の事業を活用し、学生が当町に滞在し事業を実施。 9月12日 小中合同ゴミリンピック 当町で開催されるアイアンマン大会の前に、小中学生で町内のゴミを拾いながら拾ったゴミの量を競い、町内美化活動を実施した。 9月25日 小笠原アカデミー書籍贈呈式 木古内中学校へ書架と書籍をいただいた。生徒会長・校長とともに贈呈式に参加。 9月28日 教育長杯パークゴルフ大会 たくさんの方に参加いただき、大会は成功を収めたものの、芝の状態が良くないとの指摘があり、特に芝の改善を求める声が多く寄せられた。今回の大会のみならず、色々な方々から意見をいただいている。 10月10日 令和6年度渡島・檜山管内市町教育委員会教育長研修会 教職員不足と教員採用の現状についての話があった。教職員の不足が深刻な問題となっており、教員の確保が難しい現状また、人材が民間に流れる現状もあり。抜本的な改革が必要であり、具体的な解決策として、文教大学との連携を紹介。昨年、5名の学生が実習を行い、その全員が教員採用試験に合格。今年はさらに13名の実習生が参加予定で、将来的にはこの取り組みを拡大したい。 10月17日 教育長部会研修会 ～学校の働き方改革に関する研修会時の資料を配布～ 資料では3つのテーマとして「働き方改革のさらなる加速」、「学校の指導運営体制の強化」「教師の処遇改善」特に、教員が担う業務を3つに分類し、それぞれの業務に適した環境を整備することの重要性が強調された。また、職員室の環境改善も進められており、教員が効率的に業務を遂行できる体制づくりが求められている。 (工藤委員) 10月15日の草の根教育実習はどのようなものか？ (藤澤教育長) 北海道教育委員会が大学1年生から3年生までの学生を対象に「おためし実習」としての教育実習プログラムを設けて	

おり、このプログラムでは、学生が早い段階から教育現場での体験を通じて、将来の教員としての適性を確認することができる。昨年は文教大学との連携で5名の実習生を受け入れ、その全員が教員採用試験に合格した。今年は7名の実習生が中学校で実習を行っており、年度内に計13名の学生小中学校での実習に参加する予定。

(工藤委員) パークゴルフ場の芝の状態について、今は職員が手入れしていると思うが、専門の業者に依頼する考えは？

(太田主査) 昨年と今年の酷暑が原因で芝の状態が悪化しており、現在の維持管理が難しい状況にある。特に、毎年薬剤散布を行っている企業に指導を受けながらメンテナンスを行っているものの、昨年の酷暑によるダメージがまだ残っており、完全な回復にはシーズンオフの補修が必要。今年度は11月のシーズンオフに昨年度の倍にあたる400平米の芝を補修する予定。また、西洋芝は一般的な芝とは異なり、管理が難しい部分もある。

(加藤課長) 全面的な補修には1億円、コースごとの補修には3千万円から4千万円の予算が必要となる。

承認

第2号 木古内町教育委員会教育委員の選任について
竹田委員の再任について資料をもとに加藤課長より説明

承認

第3号 令和6年第3回町議会定例会に上程した補正予算について
加藤課長より補正予算について資料をもとに説明

(工藤委員) 総合教育会議は町長と教育委員の会議と思うが、アドバイザーの立ち位置は？

(加藤課長) 毎年町部局と行っているが、漠然としたテーマというよりはアドバイザーから意見をいただいた中で、テーマを検討いただく委員会となり、アドバイザーからいただいたテーマを教育委員さんに共有し、深彫りしていきましょうというもの。

(藤澤教育長) 全国的に首長部局と教育部局で幼稚園と小学校の接続がうまくいっていない・小学校に入ってからの問題が多いといった事や、部活の地域移行で首長部局との連携など、そういった部分を町部局と協議する際にアドバイザーから助言をいただき、スムーズに実施できるよう文科省の事業を活用し実施するもの。3月までの事業期間なので、次年度以降は自分達で考えてやろうというもの。

(竹田委員) 部活の地域移行は優先すべきはPTAでいいと思う。自分達は知識をためておかなければならないと思うし、学校側の意向が先と思う

(藤澤教育長) 部活に関しては学校主体で検討する必要がある。検討委員会の設置もあるので、のちほど事務局から説明。

(竹田委員) みらいの子どもたちを育むネット対策事業に直接の関連はないが、ホームページの開設は3月までに納品で4月から公開？

(藤澤教育長) 2月までの納品となっているので、早ければ3月公開となる。

(竹田委員) プライバシーポリシーの部分が気になったが、町長のSNSによく新聞の会員ページがそのまま載っているが、それはどうなんだろう？と気になった。

(藤澤教育長) マスコミに確認をしているかどうかは分からないが、そういったガイドラインを設けるのは大事だと思う。

承認

○協議事項

- 第1号 教育に関するアンケート調査（案）の実施について
教育の現状把握と今後の予算措置を見据え、11月1日から教育アンケートを実施する予定である旨、加藤課長より報告。ただし、特に問題がなければ早ければ10月28日からの配布も検討。
（古城委員）アンケート項目で性別を問う設問があるが、今はLGBTQの事などあると思うが問題ないか？
（藤澤教育長）学校側とのやり取りの中で、この設問については特に問題がないと判断している。
（古城委員）新学習指導要領に関するアンケート項目について、特に、環境教育に関する選択肢が不足していると感じる
（藤澤教育長）その部分は取り入れてもいいかもしれない。
（竹田委員）教科の基礎基本を大切にする教育に関しても、保護者が「当たり前」と捉えてしまうのではないだろうか。もう少し分かりやすい方がいいかと思う。
（工藤委員）部活の地域移行に関しての項目はあるか？
（藤澤教育長）その件に関しては、今後検討委員会を立ち上げる事となっている。保護者向けのアンケートに部活動に関する項目を追加したい。

可 決

- 第2号 木古内町部活動地域移行検討委員会設置要綱（案）について
資料をもとに加藤課長より説明
この委員会では、来年度中に部活動の地域移行を進めるための具体的な施策が検討される予定です。特に、小学校では部活動の規定がないものの、陸上部や吹奏楽部などが存在しており、これらを地域で支える仕組みが必要。また、中学校では広域での部活動の選択肢を提供するため、拠点校方式が導入されており、福島町など隣接する町との連携も進められているが、保護者からは、交通費の補助などの支援が求められており、町としての対応が求められている。
（工藤委員）他の市町村との連携について、西部四町で協議する会議体などは？
（加藤課長）現在は無い。そういった部分も含めて協議する事となる。
（藤澤教育長）昨年、西部四町で経産省の補助を活用し、広域的に部活動の実施について実証事業を行った。拠点校方式の部活動を実施する事に繋がり、木古内中の生徒が福島中のバスケット部に参加した経緯もある。子どもたちにより多くの選択肢を提供できるよう連携を強化する。

可 決

- 第3号 専決処分について
木古内中吹奏楽部の日本管楽合奏コンテスト参加報償費の増額補正専決処分について資料をもとに加藤課長より説明。

可 決

○その他

- 令和6年度渡島教育委員会連絡協議会研修会の開催予定について
出欠について確認⇒工藤委員出席
- 教育みらいフォーラム2024inきこない
フォーラムの詳細について加藤課長より説明
（工藤委員）このフォーラムのタイムスケジュールについて時間が長いですが、PTA連合会共催という事なので、当然PTAも参加すると思うが5時間半は長くないか？
（加藤課長）午前中は任意参加で午後からPTA連合会と共催する形で5時間半のプログラムとなっている。
（藤澤教育長）今回、渡島檜山の教育局の後援をいただいているので、近隣町村の教職員にもご案内をさせていただく。

- (仁禮委員) 自分がPTAだった頃は、動員がかかりクラス役員が参加する形だったが、今はどのようにやるのかと感じた。
- (竹田委員) デジタル教育が過度に進みすぎているのではないかな？ノルウェーなどの国々では、デジタル教育の見直しが行われており、人間中心の教育が重視されている。デジタル教育がビジネスとして過剰に推進されている点についても疑問。バランスの取れた教育が必要と思う。
- (工藤委員) デジタルに偏りすぎた教育ではなく、心の教育や人とのつながりを大切にする教育が重要だと思う。子どもたちがデジタルに依存することで、対面でのコミュニケーション能力が低下している。これに関連して幼児教育ではデジタルを避け、人間的な成長を促す環境を整える必要もあるのでは。
- (古城委員) 自分の塾でも、デジタル化が進んでいるが、ある日、子ども達が自分の顔ではなく、画面しか見ていないと気づいた。今ハロウィンイベントをしているが、デジタルなしで実施しており、子ども達がイキイキしている。

3 木古内町小中連携カリキュラム検討委員会の進捗について
いままで2回の委員会について森山補佐官より説明。

- (竹田委員) 小学校でも教科担任制が進んでくるがそのへんは？
- (森山補佐官) 各教科で取り組んでいる。情報活用能力も進んでいるが、中学校に進む時にもう少し改善されてもいいのかと。中学校は技術家庭科が情報活用の主となる。現状中3での情報活用はあるが、中1・2年でカリキュラムが抜けているので、その部分の接続を上手く出来ればというものの。

4 木古内町教育委員会ホームページ整備事業の進捗について
森山補佐官より説明

5 教職員の研修について

- 森山補佐官より説明。小学校研修後のアンケートは12件ほど回答があり、「授業で活用できる」など好転的な意見がおおかった。次回はGoogle活用についてなど。
- (工藤委員) 実施時間は授業中の時間帯？
- (森山補佐官) 3:30~4:00の授業時間外で実施。業務の負担にならないよう学校長とも相談して実施した。
- (竹田委員) Canvaはプロ版？
- (森山補佐官) 自治体はプロ版も無料で使えるが、今は教員に紐付いているので教育委員会で整えて学校に配布する形にする。

第10回教育委員会の日程確認について

日時：令和6年11月27日（水）9:30～

署名委員

工 藤 嗣 美 印